

第2学年 英語科学習指導案

日 時 平成23年10月23日(金) 4校時
学 級 2年C組
(男子20名、女子16名、計36名)
場 所 一関市立千厩中学校2年C教室
授業者 教諭 米 田 晃 子

1 単元名 Unit5 A Park or a Parking Area? (New Horizon English Course Book 2)

2 単元について

(1) 教材について

本単元で扱っている題材は、Starting Out では「妹がけがをして入院したので一緒に見舞いに来てほしい」という内容のファックスを、Dialog では、妹がけがをすることになった事故の原因についてのマイクと絵美の対話を、Reading for communication では「公園をつぶして駐輪場にする」という市の決定についての新聞記事とそれに対する新聞の投書である。身近な「地域の問題」を扱いながら、「事実を伝える」「意見を述べる」などの言語活動を行い、英語で簡単に「賛成か反対かを述べ、その理由を言う」ことができるようにすることがねらいである。

文法事項では、各種従属接続詞の if 節、that 節、when 節、because 節を扱っている。従属接続詞を使うと、文章がこれまでよりも長くなり、表現できる内容も豊かになる。それぞれの接続詞の意味と働きを理解させるとともに、語順に注意させる事が大切である。

(2) 生徒について

全体的に素直であり、与えられた課題には素直に取り組む姿勢がある。小テストや単元テストを実施し、8割以上正解できない場合は、出来るまで再テストを行っているが、ほぼ95%の生徒が3回目の再テストまでに合格できるようになってきた。しかし、文法事項を理解できても、語彙力が不足し英語を理解できない生徒が多く見られる。パンプラクティスなどの活動で、既習の単語を何度も使用するなど、繰り返し指導することで語彙力の向上を図りたい。書く事に関しては、「日記」「わたしの夢」「夏休みの思い出」などの英作文を書かせる回数を重ねることで、書く量が増えて表現も豊かになってきた。文法的な間違いは多少あるが、英語を書く事への苦手意識は少なくなってきた。

(3) 指導について

指導にあたっては、プリントやワークで文法事項の練習を行いながら、自分自身について書く活動を行う。それを、友達と話したり聞いたりする活動につなげていく。また、従属接続詞を使うと文が長くなり、これまでよりもたくさんの情報を入れることができる。そこで、既習事項を使って、豊かな表現の文が書けるように励ます。

これまでも、「日記」や「夏休みの思い出」などを英語で書いてきた。単元のまとめでは、従属接続詞を使いながら、以前よりも情報量が多い英文日記を書く活動に取り組みさせる。

3 英語科における「活用を意識した学習活動」のとらえ

英語科においては、以下のような学習活動を、「活用を意識した学習活動」ととらえる。

- (1) 既習事項を基に、英語を読んだり、聞いたりしたことを理解する学習活動。
- (2) 自分の考えや気持ちを、英語で話したり、書いたりする学習活動。

4 単元の指導目標

(1) 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

本文の内容や従属接続詞の運用について関心をもち、積極的に従属接続詞を用いて言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 【外国語表現の能力】

従属接続詞を用いて話したり書いたりして、自分の考えを表現することができる。

(3) 【外国語理解の能力】

本文やCDの内容を聞いたり読んだり、ペア活動で聞いたりして、話し手や書き手の意向などを理解することができる。

(4) 【言語や文化についての知識・理解】

従属接続詞の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけることができる。

5 単元の指導計画（12時間扱い）

単元	パート	時間	学習内容	評価計画				「知識・技能の習得」の場面	「活用を意識した学習活動」の場面
				コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		
Unit5 A park or a parking Area	S0	2	If 節 【本時 2時 間目】	◆if 節の運用について関心をもち、コミュニケーションを図ろうとしている。	◆if を使って、身近なことについて英語で書いたり話したりすることができる。	◆教科書の本文や if を使った友達の話を聞いたり読んだりして、正しく理解することができる。	◆従属接続詞の意味、形、用法を理解することができる。	○単語を練習する。 ○ワーク、プリント、口頭練習などでドリル練習をする。 ○ペアで話したり聞いたり書く活動をする。	★文法事項を使って英文を書く活動をする。 ★ペアで話したり聞いたり書いたりする活動をする。
	Dialog	2	That 節	◆that 節の運用について関心をもち、コミュニケーションを図ろうとしている。	◆that を使って、身近なことについて英語で書いたり話したりすることができる。	◆教科書の本文や that を使った友達の話を聞いたり読んだりして、正しく理解することができる。	◆従属接続詞の意味、形、用法を理解することができる。	○単語を練習する。 ○ワーク、プリント、口頭練習などでドリル練習をする。 ○ペアでインタビューなどの活動をする。	★文法事項を使って英文を書く活動をする。 ★ペアのインタビューで話したり聞いたり書いたりする活動をする。
	RFC	3	When 節 Because 節	◆when 節や because 節の運用について関心をもち、コミュニケーションを図ろうとしている。	◆T or F や Q and A での質問に対して正しく答えることができる。 ◆when や because を使って、身近なことについて英語で書いたり話したりすることができる。	◆教科書の本文や when や because を使った友達の話を聞いたり読んだりして、正しく理解することができる。	◆従属接続詞の意味、形、用法を理解することができる。	○単語を練習する。 ○英文で書かれた文章の内容を理解する。 ○音読練習をする。	★教科書の本文を読む活動をする。 ★T or F、Q and A で本文の内容についての質問を聞いたり読んだりして、それに答える活動をする。 ★文法事項を使って英語を書く活動をする。
	LP テレビ 番組	1	全ての既習事項	◆CDの内容を正しく聞き取ろうとしている。		◆CDを聞いて、正しく内容を理解することができる。			★初めて聞く英文の内容を正しく聞く活動をする。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① if 節の運用について関心をもち、コミュニケーションを図ろうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ② if を使って、身近なことについて英語で書いたり話したりすることができる。
(外国語表現の能力)
- ③ if を使った友達の話の聞いたり読んだりして、理解することができる。
(外国語理解の能力)

(2) 本時の構想

本時では、宿題の答え合わせを通して前時の復習をするとともに、「もし、～だったら(～れば)～する。」という文を考えて書く活動を行う。「もし、天気ならば、テニスをするだろう。」→「もし、テニスをしたら、のどが渇くだろう。」→「もし、のどが渇いたら、ジュースを飲むだろう。」と連想ゲームのようにできるだけたくさんの文を書かせる。個人で考えさせるほかに、ペアで考えたり、発表の場面を作って生徒が英語を書いたり話したりする活動量を確保したい。さらに、これを通して「書くこと、話すこと、聞くこと」をバランスよく行い、if 節の定着を図りたい。

(3) 本時の評価規準

	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	C：努力を要する生徒への手立て
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	if 節の運用について関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	if 節の運用について関心をもち、コミュニケーションを図ろうとしている。 評価①②	声かけをしながら意欲付けをはかる。
外国語表現の能力	辞書などを活用しながら、身近なことについて英語で書いたり話したりすることができる。	if を使って、身近なことについて英語で書いたり話したりすることができる。 評価①	口頭練習の例の中から選んで書いたり話したり出来るように援助する。
外国語理解の能力	友達の話の聞いたり読んだりして、正しく理解することができる。	if を使った友達の話の聞いたり読んだりして、理解することができる。 評価②	わからない単語を教えながら、内容を理解できるように援助する。

(4) 展開

段階	指導内容	学習活動	指導上の留意点(◎)、活用場面(★) 習得の場面(○)、評価(■)
導入 15分	1 あいさつ	1 英語であいさつをする。	○プリントによるドリル練習の答え合わせをする。 ○単語の練習
	2 前時の学習内容の確認	2 宿題の点検をしながら前時の学習内容を確認する。 前時に学習した新出単語を復習する。	
	3 学習課題の設定	3 学習課題を把握する。	
【学習課題】「もし～ならば」でたくさん文を書こう			
展開 30分	4 例文を使った練習	4 例文を使って練習する。	○口頭で練習を行う。
	5 自己表現作文①	5 「もし～ならば」の文を一人で書く。	★「もし～ならば」を使った英文を書き、 友達の文を読み合う。(活用①②) ◎例文を参考にして書けるように支援する。 ◎辞書などを調べながら表現の幅が広がるように励ます。 ■「もし～ならば」を使って英語で書く。 (評価①)
	6 自己表現作文②	6 ペアで「もし～ならば」の文を書く。	★「もし～ならば」を使って英語で書く。 (活用②) ◎例文を参考にして作文出来るように支援する。 ◎辞書などを調べながら表現の幅が広がるように励ます。 ■「もし～ならば」を使って英語で書く。 (評価①)
	7 グループ内発表	7 グループ内で発表する。 一番よいペアを選ぶ。	★書いた文章を発表する。(活用①②) ◎友達が発表した内容を聞いて理解する。
	8 全体発表	8 班で選ばれたペアが発表する。 クラスで一番のペアを選ぶ。	(評価②)
終結 5分	9 家庭学習の提示	9 家庭学習を確認する。	
	10 あいさつ	10 英語であいさつをする。	